

確認される佐山家の名がある。山口村は那賀郡・阿南市などを流れ

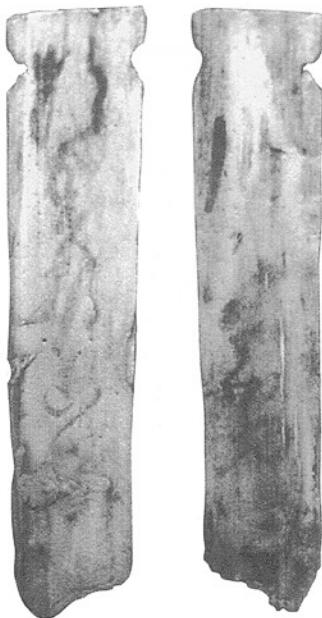
る桑野川に隣接しており、この木簡は河川に設けられた番所を通過する際の許可証である。河川を経路とした物資の運搬状況を示すものと推定される。

徳島藩の在地支配制度として、藩士とその領地との直接的な関係を示す地方知行制がある。文献からの検討も行なわれているが、出土木簡にもその状況を示す事例が増加している。中徳島町二丁目遺

跡（本誌第二三二号の徳島城下町跡）、中前川町一丁目遺跡（本誌第二三三号）がそれに相当する。所属年代や藩士の石高、所領地の分布など的情報が蓄積されつつある。それに伴い、物資の流通状況もより具体的になってきていている。

執筆にあたって、報告書作成時の木簡釈読者である根津寿夫氏

（徳島市立徳島城博物館）のご教示を得た。



(2)

## 9 関係文献

徳島県教育委員会・財徳島県埋蔵文化財センター『南前川町一丁目遺跡——鳴門教育大学（附小）校舎新営埋蔵文化財発掘調査報告書——』（徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第三六集）（2002年）  
（藤川智之）

### 木簡学会役員（2001・02年度）

監事	佐藤 宗諱	田辺 征夫	佐藤 信	寺崎 保広
副会長	鎌田 元一	岩本 正二	西山 良平	平川 南
委員	今泉 隆雄	清水 みき	館野 和己	山下信一郎
本郷 真紹	土橋 誠	吉川 真司	和田 萍	
山中 敏史	渡辺 晃宏	東野 治之	鶴見 浩幸	
市 大樹	石上 英一	岩宮 隆司	吉川 基	
鈴木 景二	竹内 亮	鶴見 泰寿	横内 裕人	
西村さとみ	馬場	古尾谷知浩		
吉川	山本			
崇徳	聰 崇			
吉江	増渕			